

# 国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの  
メッセージ



## 世界とつながり、はばたこう！

滋賀県商工観光労働部観光振興局ビワイチ推進室 主査 大沼 翔司

### クレアでの経験

新型コロナウイルス感染症の発生でNY生活を一週間前倒して帰任し約3年が経ちました。クレアでは、現地旅行博やアニメイベントでの日本文化の魅力発信などの業務に携わりました。旅行博では、日本文化に直接触れてもらうため、手製の「御朱印帳」を紹介したり（大切な私物を披露してくれた同僚のおかげで、リアリティが増しました）、書道体験を催したりしました。

日本への関心の高さを感じた一方で、具体的なニーズ（どこで買えるのか、予約できるのか、宿泊できるのか）に十分対応できず反省したこともあります。

### いざ、日本で！

現在はサイクルツーリズム「ビワイチ」を担当しています。コロナ禍により海外での直接プロモーションが思うようにできないため、オンライン商談会への参加や多言語対応冊子の作成など、インバウンド再開に向けた準備をしてきました。

冊子については工夫をしました。サイクリングツアーを紹介するものですが、ツアー内容やガイド、申込方法など具体的な情報を盛り込むことで、確実に誘客につながる内容に仕上げました。



ビワイチに興味津々 (Expat Expoにて)

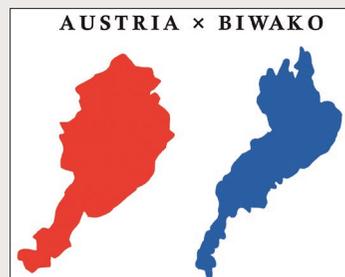
また、国内にいながらプロモーションができる場として、東京で開催される「Expat Expo」があります。

各国の在日大使館や外資系企業に勤める人たちが主に来場するので、彼らの影響力を期

待し2021年に県域DMO（観光地域づくり法人）や県内事業者とともに初めて出展しました。商談が成立する事業者もあり、結果は上々でした。

### 「瓜二つ」を生かして

オーストリア政府観光局（東京）が2021年の「びわ湖の日」にあたる7月1日に、「琵琶湖とオーストリアは控えめに言って瓜二つ」とツイートしてく



れました。オーストリアとは姉妹提携関係になく、あまり情報がありませんでしたが、中欧の中でも大きな湖があり、湖畔サイクリングが人気だと知りました。まさに運命的なことだと感じました。

オーストリアとの「ビワイチ」を通じた交流ができると考え、意見交換や大使館全権公使への訪問、文化担当公使の来訪を実施しました。今後、本格交流に発展するものと期待を膨らませています。

### 再び世界へ！

私の役割は、滋賀と世界をつなげることだと考えています。新型コロナウイルス感染症が終息すれば今以上に海外に打って出る機会が増えることでしょう。身に付けた力を最大限発揮できるのは、まさにこれからです。貴重な経験をさせてくれたクレアに感謝しています。

#### プロフィール・ほか

- 現在の業務内容  
「ビワイチ」の魅力発信、受入環境整備、基本方針策定
- クレア在籍時の所属：  
2017年4月～2018年3月 交流支援部経済交流課 主査  
2018年4月～2020年3月 ニューヨーク事務所 所長補佐